



ロヴァニエミ

ROVANIEMI

環境行動目標に関する報告

エネルギー対策と地域熱供給

- ✓ 当地域では、ゼロエミッションかつカーボンニュートラルな電力を生産しており、その量は市全体の消費電力の4倍にあたる。
- ✓ 地域熱供給は、再生木材や産業副産物、木質チップ、泥炭など、ラップランド産燃料をほぼ100%利用している。長期目標として、泥炭の使用を段階的に減らし、2030年までには完全な廃止を目指している。
- ✓ 発電所は近年、環境と気候の保護に多額の投資を行ってきた。温室効果ガスの排出は、わずか数年で約60%減少し、今後の投資によってネットワークはさらに向上する。
- ✓ 風力発電や太陽光発電などの再生可能エネルギーは、ロヴァニエミだけでなく、世界中で研究されている。しかしながら、ロヴァニエミは軍事基地としての重要な役割を果たしているため、特に風力発電の利用可能性は限定される。

循環経済

- ✓ ロヴァニエミの循環経済ロードマップには、50以上の施策がある。上位5つの施策は、2023年秋に選定される予定であったが、組織変更のため、このプロセスはまだ進行中である。
- ✓ 環境省および経済・雇用省の管轄下で、国家レベルの循環経済グリーンディールの準備が進行中である。
- ✓ 循環経済に関する規制やガイドラインの多くは、欧州連合（EU）が策定している。
- ✓ ロヴァニエミには、新しい汚泥焼却施設がある。この施設では、新技術を用いて、廃水から集められた汚泥の有毒物質を800 を越える温度で灰に焼却する。この純粋な灰は、食糧生産の肥料としても利用することができる。

自然保護

- ✓ ロヴァニエミは、その貴重な自然を大切にし、都市の自然が持つ生物多様性を高める取り組みを行っている。
- ✓ グリーンエリア（緑地）、ブルーエリア（水域）の環境の資質、アクセスのしやすさ、健康効果が保証されている。
- ✓ 森林地帯では、計画的な生物多様性の増進が、維持管理の中心的な目標である。
- ✓ 生物多様性は、市の中心部でも、緑地によって維持されている。
- ✓ 費用効率の高い雨水管理を推進するため、都市開発では、緑地面積を広げている。
- ✓ 市の公園の生物多様性も増進している。



ROVANIEMI

ロヴァニエミ



ROVANIEMI

ロヴァニエミ